

令和元年 10 月 3 日

「令和元年とやま水土里^{みどり}フォーラム」の開催について ～農業農村と国土強靱化～

農業用排水路など土地改良施設は、農業生産のみならず、防災機能や生態系保全など多面的な機能を有しており、私たちは、その恩恵を享受しています。

しかしながら、近年、農村地域では過疎化や高齢化が進み、非農家が増えるなど、これまで土地改良施設の維持管理を支えてきた基盤が年々弱くなっています。

今後とも、土地改良施設の有する多面的機能が十分に発揮されるためには、日頃から施設の維持管理に携わる土地改良区や農家はもとより、地域住民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。

このため、県内各地域での優れた活動事例の紹介や基調講演を通じ、土地改良施設の適切な維持管理について広く情報発信するため、本フォーラムを次のとおり開催します。

- 開催日時 令和元年 10 月 8 日 (火) 10:00～16:00 (開場 9:30)
- 開催場所 黒部市国際文化センター コラーレ (黒部市三日市 20)
- 開催日程 10:00～ **開会 主催者挨拶** ・富山県知事
・富山県土地改良事業団体連合会会長
来賓祝辞 ・農林水産省北陸農政局長
・富山県議会議長
・黒部市長
10:20～ **とやま水土里賞(富山県知事賞)表彰式**
2 団体、2 個人 (受賞者の詳細は別紙)
10:30～ **受賞団体事例発表**
・大崎野用水組合
・山田新田用水地区委員会
11:00～ **基調講演**
「農業農村と国土強靱化」
藤井 聡 氏 (京都大学大学院工学研究科教授)
13:00～ **現地研修**
16:00 愛本堰堤、十二貫野湖、H26 災害復旧現場、生地の清水群
(9:30～13:30 特産品の販売やパネル・ブース展示)
- 主催 富山県／富山県土地改良事業団体連合会 (水土里ネット富山)
後援 農林水産省北陸農政局／黒部市／魚津市／滑川市／入善町／朝日町
富山県内各土地改良協議会 (東部・富山・高岡・砺波)
- 参加人数 約 600 名 (国、県、市町村、土地改良区等)

みどり 令和元年度 とやま水土里賞

みどり とやま水土里賞とは

土地改良施設が有する多面的機能の発揮等、優れた維持管理活動を実践している団体・個人に「とやま水土里賞(知事賞)」を授与し、土地改良施設の維持管理に対する地域住民の意欲の高揚と県民への啓発を図るものです。

とやま水土里賞受賞者の紹介

団体の部(2団体)

受賞者の名称等

おおさきのようすいきみあい
大崎野用水組合

滑川市

対象土地改良施設
・大崎野用水路

受賞者の概要(活動の特徴等)

大崎野用水路は、二級河川早月川を水源として富山平野を一望する滑川市の丘陵部を横断し、約228haの農地をかんがいする基幹的な土地改良施設です。本用水路の受益を構成する5地区(大崎野・開・改養寺・東金屋・田林)の相互の連絡協調により、江浚い、草刈り、倒木処理、除草剤散布、除塵処理等の活動を定期的に行い、用水路の維持保全に努めています。また、安全対策として、転落防止柵や昇降用梯子等の設置も計画的に行っています。本用水路は、地域において多面的な役割を果たしていることから、農家・非農家にかかわらず、地域住民総ぐるみで維持管理活動を行っています。



やまだしんでんようすいちくいんかい
山田新田用水地区委員会

南砺市

対象土地改良施設
・山田新田用水路

山田新田用水7.1kmの用排水管理、分土工等の水門約10箇所の操作を担っています。南砺市の10地区から選出された委員長・副委員長2名を含めた13名で組織されています。地区内の水量が公平になるよう、特に副委員長2名は、平常時の水管理に加え、降雨時の排水管理のため昼夜を問わず水門操作を行っています。

また、地域の自治会長等を対象とした水路の見学会を開催し、用水には農業だけでなく生活・防火の役割があることを説いています。近年農業用水での死亡事故が多発していることから、高齢者並びに児童等に対して事故防止の啓発にも努めています。



個人の部(2名)

受賞者の名称等

とちばやし こうえい
柄林 孝栄(70歳)

黒部市

対象土地改良施設
・十二貫野用水第一分水
及び栗寺用水路

受賞者の概要(活動の特徴等)

黒部市の十二貫野用水第一分水から分水する栗寺用水路は、山間部を流下する用水路(延長2.0km、かんがい面積40ha)です。平成19年から12年間にわたり、山間部にある十二貫野用水第一分水及び栗寺用水路の施設の管理活動(草刈りや泥上げなど)を日常的に行っています。

また、先人たちの知恵や工夫を後世に伝えるため、小学生を対象に毎年十数回開催される十二貫野用水見学会においても、毎回事前準備に積極的に取り組んでいます。



いしだ かずお
石田 一雄(55歳)

立山町

対象土地改良施設
・横江頭首工(横江頭首工・
両岸分土工・左岸連絡水路橋)

平成18年から13年間にわたり、常願寺川上流の横江頭首工・両岸分土工・左岸連絡水路橋等の水管理施設の操作管理に携わっています。この頭首工は、富山市、立山町、舟橋村の約8,000haの農業用水のほか、発電や上水道用水を取水する重要な施設です。その管理事務所で、関係機関と密接に連絡を取り、頭首工及び分土工等の35門のゲート設備を迅速に操作し、安定的な水量を確保するだけでなく、取水施設の安全管理、河川災害の防止等にも貢献しています。

頭首工には毎年多くの小学生や地域団体等が見学に訪れます。これらに対し積極的に説明役を務めています。

